

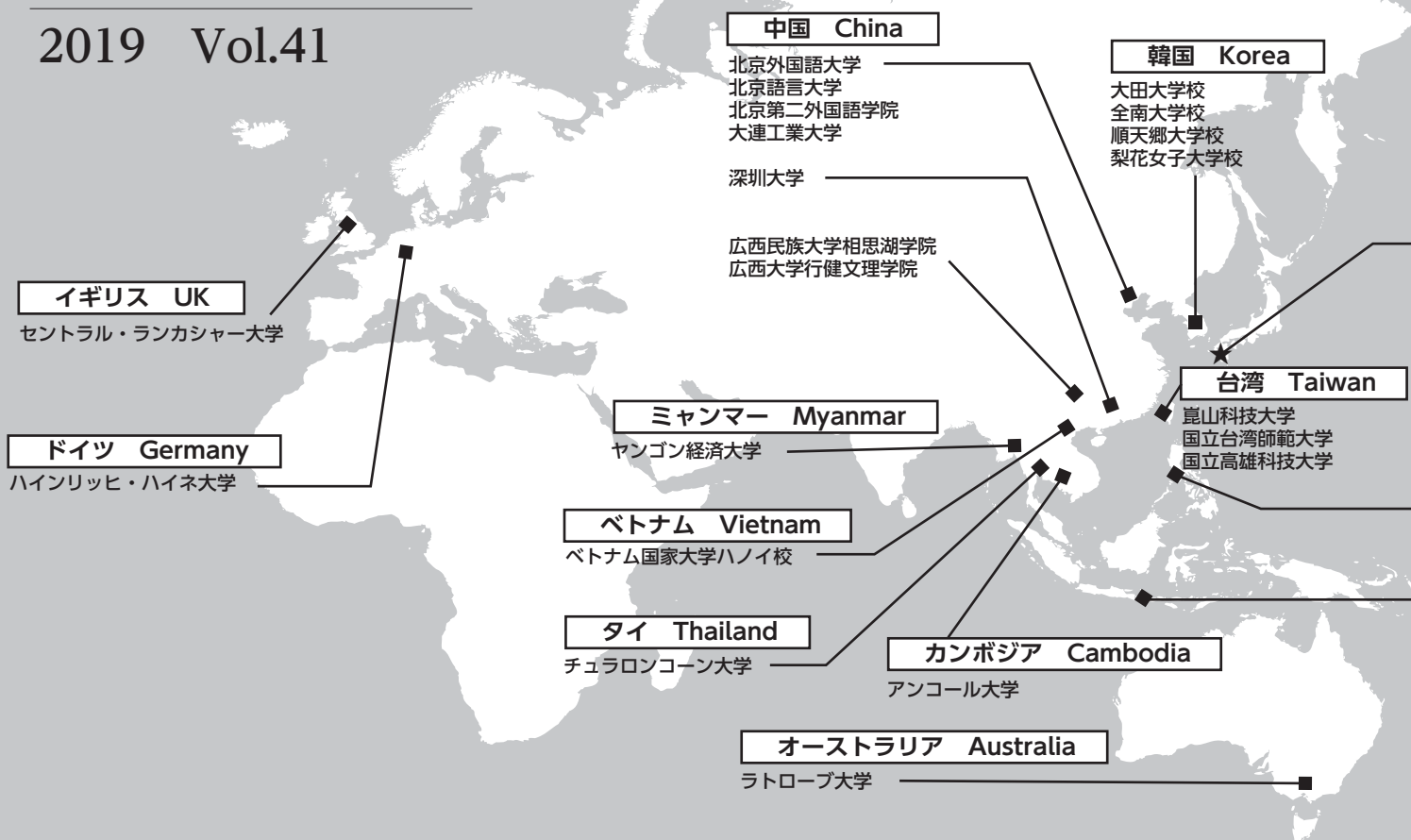


国際交流レター

2019 vol.41

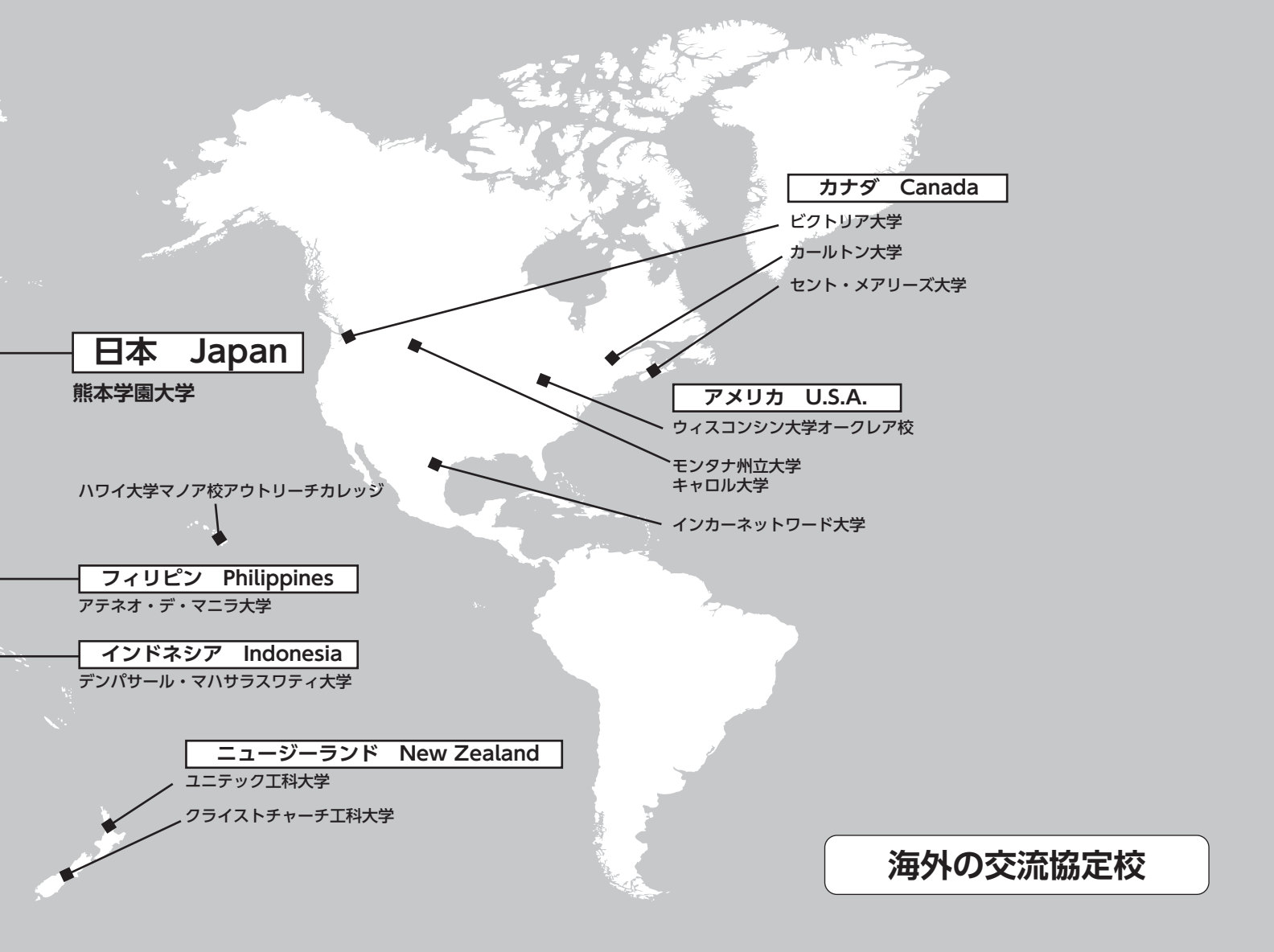
International Exchange Letter





目次

巻頭言	国際交流委員長 佐藤 勇治	2
TOPICS	第29回外国人留学生弁論大会	3
TOPICS: 新協定校紹介	大学間交流 アテネオ・デ・マニラ大学 (フィリピン) 大学間交流 国立高雄科技大学 (台湾) 学部間交流 デンパサル・マハサラスワティ大学 (インドネシア)	4
交換教員	钟 坚 (令和元年度交換教員受入 中国・深圳大学) 金 眞 會 (令和元年度交換教員受入 韓国・大田大学校) 吳 遵 杰 (令和元年度交換教員受入 中国・深圳大学) ジョセフ・トウメイ (令和元年度交換教員派遣 韓国・大田大学校)	5
留学体験記	張 民 範 (東アジア学科 4年) 郭 茜 儿 (商学科 3年) 柯 金 翰 (商学科 2年) Pham Lan Chi (経済学科 3年) Leanne Jayne Williams (英米学科 3年) Matthew Aubut (ホスピタリティ・マネジメント学科 4年)	8



留学体験記

下村 くらら (英米学科 4 年)
 井山 紅百莉 (英米学科 4 年)
 小田 朋佳 (英米学科 4 年)
 櫻井 美紅 (東アジア学科 4 年)
 白谷 清華 (東アジア学科 3 年)
 島田 萌 (東アジア学科 4 年)

11

サマープログラムに参加して

甲斐 彩華 (英米学科 3 年)

14

短期認定留学に参加して

佐崎 弥花 (ホスピタリティ・マネジメント学科 2 年)

DATA

令和元 (2019) 年 海外往来
 令和元 (2019) 年度 研修団往来、海外への派遣学生数
 令和元 (2019) 年度 出身国・地域別外国人留学生数
 令和元 (2019) 年度 留学生の主な参加行事

15

国際交流の窓

国際教育課 REPORT

18



「心の国際化・グローバル化」を考える

国際交流委員長 さとう ゆうじ 佐藤 勇治

「国際化」と「グローバル化」という言葉を見聞しない日はないほど、これらは私たちの日常生活に深く関わっているが、「国際人」とか「グローバル人」であるためには何が必要なのかを、私たちが持つべき心の状態に焦点を当てて、改めて考えてみたい。なお、ここでは二つの概念の区別はせずに類似概念として扱う。

異文化コミュニケーション分野では、その能力向上には「認知面」・「情意面」・「行動面」の三側面にそった育成が大切とされる。認知面では自他のことをよく知ること、情意面ではその理解に基づき自他の感情をよく理解し制御できること、そして行動面では、知識と感情の理解と制御により、目的と相手と場面に相応しい行動がとれることが期待されている。

これを下敷きとして私たちが務めるべきは、まずは日頃から「世界を俯瞰する」態度と習慣の形成であろう。世界はどのように形成されてきたか、世界の現状はどうなっているか、外国の動きが日本や他国との関係でどう影響するのかなどを常に見ておくことが求められる。

なお、世界を俯瞰する際に大切なことは「多面的に」行うことである。自分の視点からだけでなく、相手の視点からも見ること、さらには国家や地域の骨格をなす政治・経済・教育等の思想と制度やその枠組みの中で生起する現象を見るマクロ的視点と、他国や他地域の自然環境や文化や宗教などが人々の物心両面の生活にどう影響しているのかを見るミクロ的視点の双方から諸事実や諸現象を理解することが大切である。

これに加えてアメリカの社会心理学者の David Matsumoto が提唱している「国際適応の4原理」も参考にすることができる。彼は私たちが国際適応するために必要とされる心的状態を「開放性」・「柔軟性」・「曖昧さへの忍耐力」・「新しいことへ挑戦する心」と

しており、これらを備えた人は異文化社会へうまく適応できる可能性が高いとされている。

「開放性」とは、心に思い込みなどのフィルターをかけないで、異文化社会と人があるがままに見て感じ理解するという姿勢である。「柔軟性」とは、固定観念に捕らわれないで、その時々や相手や状況に応じて物事を柔軟に考え対応できることを指す。「忍耐力」は異文化世界で経験する様々な「想定外」のことに軽々に判断を下さずに、しばらく我慢強くその背景は何かとか、意味は何かとか、何故そのような言動になるのかななどを調べたり考えたりする必要性のことである。「挑戦心」とは、異文化世界での暮らしで直面する新しい状況に臆せずに、必要であると思われるものには取り組んでみる勇気を指す。

これら4原理は至言であると思われるが、私たちは同じ事実や現象に遭遇しても「歴史や文化の見えざる手」によって無意識的に一定の視点からそれらを捉えたり感じたりする傾向をもっているので、言うは易く行うは難しという側面があることも事実である。しかしながら、心構えとしてはこのような姿勢を持つことが国際化・グローバル化の時代を生きる者としては必要なことであろう。

これまで見てきた異文化コミュニケーション分野と Matsumoto の知見を組み合わせると、私たちが「国際人」や「グローバル人」として世界との関わりを持つために必要な心構えや日常の取り組み方が見えてくるのではなかろうか。今日の世界は国際化・グローバル化の進展とその反動による反国際化・反グローバル化の動き、また国家間や同一国内での分断や対立が見られる状況にあるが、いかなる状況下でも私たちが世界と対峙する心の在り方には変わらないものがあるように思える。皆さんはどう思われるだろうか。

第29回外国人留学生弁論大会

6月8日（土）に毎年の恒例行事である外国人留学生弁論大会を開催しました。本大会は、本学に在籍する外国人留学生が、彼らの日本語能力の向上を図ると共に日本人との相互理解を深めることを目的としています。今回は4ヵ国7名の留学生が出場し、それぞれの思いを緊張しながらも練習を重ねた素晴らしい日本語で堂々と発表しました。会場には、学生、教職員及び地域の皆さんが来てくださり、留学生たちの発表に聞き入りました。

最優秀賞に選ばれたのは、中国からの交換留学生リク テイさんでした。リク テイさんは「中国の女性権

利の発展」をテーマに、「女性の地位は近年では随分改善してきましたが、依然として多くの障害があります。私は女性として、無数の女性が力を尽くして戦って得た権利を大切に、今後も差別の解消に向け努力します」と語りました。また、来場者の投票で選ぶオーディエンス賞と優秀賞のダブル受賞に輝いたオランダからの留学生ダーネ サンダーさんは、女性平等について自分の見解を述べました。同じく優秀賞のオーストラリアからの留学生、グルフト アレクサンダーさんは空手の流派について、身振り手振りを交えながらスピーチしました。



<後方左から>喜佐田教学部事務次長（審査員）、松尾健治商学部講師（審査員）、グルフト アレクサンダー、ダーネ サンダー、川田亮一商学部准教授（審査委員長）、佐藤勇治国際交流委員長
<前方左から>リク テイ、ジョラドン チャノン、チョウ レイハ、ユウ シンゲン、リョウ シュンケツ

受賞者一覧

最優秀賞	商学部商学科 3年	リク テイ	(中国)	中国の女性権利の発展
優秀賞	外国語学部英米学科 2年	ダーネ サンダー	(オランダ)	女性平等
	経済学部経済学科 4年	グルフト アレクサンダー	(オーストラリア)	空手の流派：硬いか柔らかいか
奨励賞	商学部商学科 1年	ジョラドン チャノン	(タイ)	人生で一番大事なことは何ですか？
	商学部商学科 3年	リョウ シュンケツ	(中国)	Re：ゼロから始める異世界生活を見て感じたこと
	外国語学部英米学科 1年	ユウ シンゲン	(中国)	日本と中国の違い
	商学研究科 商学専攻修士課程 1年	チョウ レイハ	(中国)	大人への道
オーディエンス賞	外国語学部英米学科 2年	ダーネ サンダー	(オランダ)	女性平等



大学間交流：アテネオ・デ・マニラ大学（フィリピン）

アテネオ・デ・マニラ大学は、フィリピンの首都マニラの近郊にあるケソン市に位置し、1859年にカトリックのイエズス会により創立された長い歴史と伝統を持つフィリピンのトップ大学の一つです。国内では、フィリピン国立大学に次いで高い評価を得ている私立大学で、ベニグノ・アキノ3世前大統領をはじめ政界や経済界で活躍している卒業生を多数輩出しています。メインキャンパスであるロヨラキャンパスには、人文、社会科学、理工、経営学部があり、55の学士コース、90の修士・博士課程を提供しています。学生数は、学部生約8,200名、大学院生5,300名で、2020年度より交流を開始する予定です。



大学間交流：国立高雄科技大学（台湾）

国立高雄科技大学は、2018年に高雄第一科技大学、高雄応用科技大学、高雄海洋科技大学の3大学が合併して誕生した国立大学です。工学部等の理系学部と、国際金融・流通・マーケティング等の商学・経済系の学部や外国語学部を有する文理総合大学で、総学生数27,568名、教職員数は1,505名と学生数では台湾第二位の規模で、台湾最大の科技大学として知られています。

2019年12月に交流協定を締結し、今後は、学生の交換や教職員の交流、研修団の派遣と受入れなど包括的な交流を進めていく予定です。



学部間交流：デンパサール・マハサラスワティ大学（インドネシア）

デンパサール・マハサラスワティ大学は、インドネシアバリ州の州都デンパサールに位置し、1982年に創立された私立大学で、8学部を有する総合大学です。2019年7月に本学経済学部とデンパサール・マハサラスワティ大学外国語学部との間で交流協定を締結し、2020年度より学部間交流を開始する予定です。



包括的な近代化の実現 交換教員として過ごして思うこと

深圳大学 ^{ショウケン} 钟 堅

【2019年3月～2019年8月 中国・交換教員】

2019年3月から8月にわたり、私は深圳大学からの交換教員としてのミッションを遂行することができた。滞在期間はわずか半年であったが、多くのことを教わり、多くを学んだ。

第一に、日本の近代化と国民の道徳と教育の近代化についてである。日本是世界最高の国民の質を持つ国の一つであり、国連は世界国民の民度・道徳レベルランキングを発表しているが、日本は30年以上にわたって世界第一位にランクされているが、教育がそれに重要な役割を果たしていると感じる。

熊本学園大学は規模が小さくなく、学科や専攻は多くはないが、学校の管理が行き届いている。静かで、学術的で、調和のとれたというのがこの大学のキーワードと言える。特に印象が深かったのは、まず、キャンパスがきれいで整然としており、緑化が進んでいて、実に公園のようで美しかった。日曜日にはキャンパス内のオフィスは閉まり、学生も教職員も休息の一日となる。これは中国の大学ではまだ見られないことである。2つ目は、入学式と卒業式であるが、式典の前後の時間は短く、それでいて内包するものが豊かで、シンプル且つ重厚感があり、儀式としての印象がとても強く残るものであった。3つ目に、限りある資源の中で、学校は教員1人に1部屋の研究室を提供している。教師を基とする学校管理を体現している。4つ目に、大学運営が人間重視であること。熊本学園の理事長、大学の学長は、毎年新入教職員の歓迎会を開いて、懇親の場を設けている。新しく来た交換教員に対しても、理事長と学長が表敬訪問を受けてくれ、また帰国前の挨拶にも応じてくれる。また大学として担当の職員を当ててくれるが、滞在中はいつも気にかけてくれ、必要なサポートをしてくれて、学園大での半年間はとても人の温かさを感じた。

第二に、日本の近代化を肌で感じたことである。私の交換教員としてのミッションは「東京ベイエリアの経験と広東・香港・マカオベイエリアの建設研究」であった。特に、東京ベイエリアにより詳細な調査を行うため、主要港（横浜港、東京港、千葉港、川崎港、木更津港、横須賀港）、東京ベイエリア近代交通ハブ、東京イノベーションシステムを視察した。また、暇な

時間を利用しては、キャンパスを出て、幅広く日本社会に触れる機会を持った。山鹿市、荒尾市、天草市と阿蘇市にも行った。また熊本以外では、福岡、大分、佐賀、長崎、鹿児島、久留米、大阪、奈良、京都などの都市も回った。大都市では、いくつかの大学や街並み、港も見て回り名所旧跡を訪ねることもあり、地元の人と触れ合うこともあった。短い日本への旅行や学術訪問とは異なり、交換教員として半年間、熊本に暮らしながら家の近くや少し郊外の田舎を歩き回り、日本社会の日常に足を踏み入れた。日本の社会は、近代化（インフラ、移動、経済、管理、教育、道徳や礼儀正しさ、国民の生活保障）に対して深い理解を持っていることに感じ入った。その中でも、交通機関の近代化（様々な交通手段のスムーズな乗換え、交通ICカード）に感銘を受けた。私は、人間重視とは何か、国民の質とは何か、近代化とは何か、安全とは何か、礼儀正しさとは何か、便利さとは何か、エコロジーとは何かについてより深い理解を持つことができた。

日本について、私たちはもっと知り、もっと学ばなければならない。中国の改革開放と近代化建設はすでに40年の発展を遂げており、現在では中国は経済状況のみならず、生活環境も著しい変化を遂げた。貧しく遅れた国が、今では世界第二位の経済大国にまで発展したのだ。しかし、グローバルな視点から見ると、中国は依然として発展途上の国である。中国人の一人当たりGDPと近代化レベルは日本と比べても大きな隔りがある。日本はアジア唯一の先進国であり、多方面において手本とすべきものがある。もし過去40年は、中国が主に日本の経済発展や近代化の「スピード」について研究していたのなら、今後はもっと日本の近代化の「質」と包括的な近代化について注目し学んでいくべきである。私にも、日本の近代化の歴史とそのプロセスについて研究するというアイデアが芽生えた。近い将来、日本の包括的な近代化に関する研究の成果を著作としてまとめることを楽しみにしている。





熊本で暮らして

キム ジン フェ
大田大学校 **金 眞 會**

【2019年3月～2020年2月 韓国・交換教員】

3月12日韓国を発って約1時間で阿蘇熊本空港に到着した。空港から市内に移動しながら、熊本市がとてもきれいで、整理されている感じがした。韓国の都市とは違うと思われたのは、高層マンションが見られないのと市内を走っている路面電車だった。道路周辺のアパートやマンションなどの建物が高くはないが、様々な形で建てられており、道路の真ん中を走る古風な路面電車の姿は大変身近に感じられた。

熊本で最初にやってみたことは、熊本市内の主な名所を訪れてみることだった。まず熊本を代表する水前寺公園を訪ねた。地下水が湧き上がる公園の池と、その裏にある庭園の風景は壮観だった。次に訪れたのは、水前寺公園の池の水が流れ、大きな湖を成した江津湖である。澄んだ鏡のような湖の周りをゆっくり歩いていると、心が安らぐような気分になる場所だった。江津湖の周辺には熊本動植物園があった。熊本動植物園の風景は江津湖と調和し、観覧客が少なく、ゆったりとした気持ちで様々な種類の動物や植物を見ることができた。特に良かったのは、自転車を借りて江津湖周辺を散策したことや、夏の夜空を華やかに彩る花火を見たことだった。最も残念に思うのは、熊本地震の被害によって復旧工事中の熊本城内の姿を直接見ることができず、城の外だけで鑑賞したことである。そのほか、熊本の美術館、博物館などいろいろな名所を訪ね、ソフトバンクのプロ野球を観戦し、熊本の夏祭りを経験したことは楽しく面白かった思い出として残っている。

熊本では熊本学園大学の交換教員として毎週2回韓国語の授業をしている。外国人に韓国語を教えるということが言語的限界と文化的な差のためとても緊張したことがあったが韓国語授業を受講する日本の学生たちが興味を持って熱心に授業を聞いてくれてありがたく思っている。これから多くの日本の学生が韓国に対して関心を持って韓国語を学んでいくことを期待したい。

熊本学園大学では、韓国語の授業をしながら同時に日本語の授業を受けている。日本語が上手ではなくて困難が多少あったが、授業で学んだ日本語が韓国語の授業と熊本の生活に大きく役立った。外国人の私に親切で面白く日本語を教えてくださいました熊本学園大学の日本語の先生方に感謝の気持ちを伝えたい。

熊本の美しい自然、伝統的な歴史と文化、特に都市のどこでも見られる可愛いキャラクターくまモンは、他では感じられない熊本ならではの魅力と思われる。熊本で過ごした約1年間の生活は私の生活において、永遠に忘れられない特別な経験で、良い思い出になるだろうと思う。親切な笑顔で暖かく接してくれた熊本で出会ったすべての人々に、特にいつも親切にしてくださいました熊本学園大学の皆様に感謝申し上げるとともに熊本学園大学の永遠の発展を祈る。



熊本再来して思うこと

ゴ ジュン ケツ
深圳大学 **呉 遵 杰**

【2019年9月～2020年2月 中国・交換教員】

長い歳月が過ぎた。令和元年9月17日、私は再び熊本にやって来た。前回は平成13年3月から9月までの半年間であった。深圳大学の交換教員として二度も熊本学園大学に来ることができたのである。今回は時間があるので本を読みながらいろいろ考えてみたい。

私の専攻は経済思想史である。学園大の美しく精緻な図書館の一階には経済思想史の本が沢山ある。明るく閲覧室で、私はいつもフランソワ・ケネー、アダム・

スミス、カール・マルクス、ジョン・ケインズ、宇沢弘文などの時代をリードした俊英たちに学びながら、一日を愉快地過ごしている。

『熊本学園大学の大学案内2020』を手にとった時に、「地域貢献」という学園大の特色を改めて認識したのだが、学園大では、就職が内定した学生のうち57.8%（2018年度データ）が熊本に就職して、熊本県内の社長数は学園大出身者が一番多い。それもそのはずで、学園大の経済学科には、濃厚な経済思想の背景がある。例えば、経済学科のカリキュラム一覧では、2年次には「基本経済思想」、「基本経済史」、「社会思想史」、「日本経済史」などの科目がある。3・4年次には「経済学史」がある。

大経済学者ジョン・ケインズは、『一般理論』の終章に次の有名な文章を残している。「(前略) 経済学者と政治思想家の考えは、それが正しい場合でも、また間違っている場合でも、通常考えられている以上に影響が大きいものである。(中略) 誰の影響も全く受けていないと信じている実業家でさえ、すでに陳腐化した経済思想の奴隷となっていることが多い(後略)」。経済学の目的は、経済の構造と実行を解明することだと思うが、ここから見ると、学園大の経済学科の科目設置は極めて合理的だと思う。



Daejeon University MT (Member Training)

外国語学部教授 ジョセフ・トウメイ

【2019年3月～2020年2月の1年間
交換教員として韓国・大田大学校へ派遣】

To begin this essay, I'd be very grateful to have this chance to be at Daejeon University and I have to extend my warmest thanks to not only Daejeon University and the international office, but also to both the English and Japanese departments at Daejeon. I'm embarrassed that I knew so little about Korea before I came, and I feel that I've only scratched the surface. But in this essay, I'd like to talk about my experience with MT (Member Training). I'm not positive if MT is unique to Daejeon University but I enjoyed meeting the students.

Daejeon English Department's MT (Member Training) is similar to the KGU English department's freshman camp, but there are several interesting differences. The first is that MT is organized for every department at the university, with university support. The English department's MT was held in Boryeong, on the west coast of Korea, about a 3-hour drive. The event was organized by the English Department's student council, a group of students that are chosen each year. They receive financial support from the university and I was impressed not only

at how smoothly everything was organized, but also by the participation of other upperclass students. Of course, one big difference between the English department at Daejeon and KGU's English department is numbers: Daejeon has less than 40 students a year while Gakuen has over 100 students.

This is just one of the events that are held at Daejeon university for students, by students. I can't help but think that events like this are one of the reasons that the Korean students often are more engaged in classes.

Finally, I'd like to finish this essay off with a thank you to everyone at Gakuen, not only the Office of International Education, but the Department of English and the Faculty of Foreign Studies, for allowing me this opportunity.





熊本学園大学での留学生活

チャン ミン ボム
張 民 範

【2019年4月～2020年3月
韓国・大田大学校からの交換留学生】

私は高校生の時から日本のことが好きで、大学に入学してからずっと日本語を勉強しています。大学1年生の時に、交換留学生制度があると聞き、是非交換留学したいなと思いました。そして日本語能力試験1級に合格した3年生の時に、交換留学生試験にも合格しました。

2019年に熊本学園大学に来ましたが、私が考えた日本と本当の日本は違いました。私が教科書で勉強した日本語は、日本人が使わない言葉が多くびっくりしました。しかし、ここで新しい日本語を勉強しながら、もっと日本が好きになりました。

また、日本では韓国のことが好きな学生たちに韓国語を教える機会がありました。それがきっかけで、日本で韓国が好きな方々に将来韓国語を教えたいと思

ました。そして、その夢を叶える為に、日本で大学院に進学することを決めました。

最初に熊本に来た時、韓国人は私一人だったのでちょっと寂しかったです。しかし皆と友達になって今はとっても幸せです。みんなのお別れの時が近づいていますが、残った期間はたくさん思い出を作りたいです。

熊本で留学した一年は人生で絶対忘れない思い出です。熊本にまた戻ってくるために、帰国しても一生懸命勉強したいと思います。



国際交流祭典ではかまを着た時（筆者は奥中央）

春夏秋冬

カク セン ジ
郭 茜 儿

【2019年4月～2020年3月
中国・深圳大学からの交換留学生】

春、三月末に私は日本に来ました。日本に来るのは初めてではなかったのですが、ここで勉強し、生活するのは初体験です。環境や言語や人の違いが私にとって非常に新鮮で楽しいと感じていました。2019年5月1日から、「令和」になりました。まさかちょうど日本にいる時、年号改元するとは、一生一回のことではないかと思えます。

夏、日本で住んでいるうちに、福岡・東京・大阪に行きました。福岡の屋台でおじさんやおばさんと話した事、東京で友達と一緒にいったディズニーランド、一人の大阪旅行など素晴らしい思い出を作りました。夏といえば、花火大会です。この短い夏の中で、花火大会に三回行きました。綺麗な花火や祭りも、私に深い印象を残しました。

秋、アルバイトを始めました。日本でのアルバイト

は初めてで、コーヒー好きな私にとって、コーヒー屋さんで働けるのは大変楽しいことです。アルバイトの中で学んだことが山ほどありますし、仲間たちも面白くて、色々なことを教えてくれました。大変なことより楽しいことの方が多いです。

冬、この冬が終わったら、私の留学生活も終了です。友達やここでの生活など、心残りはありますが、これからのことも考えなければいけません。この一年間の経験に基づいて、将来自分が決めた道へ進みます。日本に来た時は桜咲く時期でした。帰国する前に、また桜を見られるでしょうか。



阿蘇の大観峰にて（筆者は中央）

私の第二の故郷、日本

コ ジン ハン
柯 金 翰

【2018年9月～2019年8月
台湾・崑山科技大学からの交換留学生】

私は、台湾と日本の絆は強いと思います。私が2015年に留学していた栃木の高校の先生からは、「熊本にたくさんの義援金を寄付してくれて、ありがとうございます。」とお辞儀しながら言われました。ひいおばあちゃんが、「日本統治下時代は、台湾人に優しくしてくれた日本人がいた。」と話していたと父の口からききました。そのため、興味深く感じて熊本学園大学にやってきました。

一人で見ず知らずのところにやって来て、最初は緊張と不安の中で暮らし始めました。しかし私の心配は杞憂に終わりました。ここにいる日本人の先生や友人や家族たちが、私が困っている時は助けてくださいました。熊本ではたくさんの友だちが出来ました。台湾人と違って日本人は少しシャイですが、時間が経つと、いつの間にか日本人の友だちが何十人もできました。

日本人から、たくさん日本文化を教わりました。台湾の文化と似ている部分が多くありました。例えば、箸をご飯の真ん中に刺すとダメとか、靴をぬいで家に入るなどの文化が台湾と一緒にしました。それで親しみを感じました。留学中にこういう同じ文化を探すのも、楽しいです。

機会があれば、また日本にもう一度留学したいです。日本は私にとって第二の故郷になりました。もし将来日本とかかわる仕事があれば、私はためらわずにその仕事を選択するでしょう。短い時間でしたが、いつもお世話になった日本人のみなさんに、感謝を申し上げます。



歓迎会にて（筆者は中央）

未知の旅へ

フ ァ ム ラ ン チ ー
Pham Lan Chi

【2019年4月～2020年3月
ベトナム国家大学ハノイ校からの交換留学生】

私は日本語を勉強し始めたのは大学の一年でしたが、高校時代ずっと日本に興味をもって日本へ留学したいと思っていました。私はベトナム国家大学の中では、他の同級生たちより優秀でもないのですが、熊本に留学できるのは夢みたくです。日本に留学できて本当によかったです。

到着の日、前からたまっていた不安は、国際交流会館のスタッフと留学生の皆さんの暖かい歓迎で消えてしまいました。日本に来るのは初めてなので、皆さんと仲良くしたり、輪に入ったりすることができるかと心配していましたが、どこに行っても周りの人々に手伝っていただき、今まで困ったこと何もありません。

そして、熊本に来てからたくさんの体験をして色々勉強になりました。熊本の豊富な文化と歴史を身につ

けることができるだけでなく、日本人学生や色々な国々からの留学生と交流したり、多くの初めての体験をしたりして自分が成長してきたと感じます。ですから、毎日もっと勉強になることや、新しい出会いを楽しみにしていて、できるだけまだ知らない日本の美しさを見つけないと思っています。今までの旅は私一人ではなく、多くの人々と協力して成し遂げる事ができたという事に深く感謝したいと思っています。



寮の友達と花岡山で撮った写真（筆者は左下）



私の魔法の経験

リ アン ジェーン ウィリアムズ
Leanne Jayne Williams

【2018年9月～2019年8月
イギリス・セントラル・ランカシャー大学からの交換留学生】

セントラルランカシャー大学で、私は熊本から来た日本人と友達になりました。彼女の勧めもあって、私は熊本学園大学に応募することにしました。

私の海外で過ごした1年間は魔法のようでした。これは私が今までにした中で、最高の決断でした！日本に到着したすぐから、国際教育課のスタッフは私を家族のように扱い、日本の生活と文化に慣れるのを助けてくれました。歓迎会やイベントを通して、また寮で様々な国の友人がたくさん出来ました。私たちは今でもよく電話で話します。滞在中には本当にたくさんの友達が出来ました。熊本の人たちはとても親切で、今では家族のように感じます。

熊本学園大学では、旅行、アルバイト、新しい食べ物、日本文化の学習など多くの経験をしました。留学中に

日本を旅行して、東京・鹿児島・大分・長崎に行きました。海外は韓国と香港にも行きました。

リラックスできるので、私の好きな日本の文化は温泉です。親友と温泉に行ったのが良い思い出です。

たくさんの特別な思い出があり、私は決して忘れません。熊本の生活が恋しいので、いつかきっと帰りたいと思います。私は現在、熊本学園の「演習Ⅲ」の授業で学んだ、みなまた病について卒論を書いています。熊本のおかげで、私の未来は形作られている事に感謝します。



大好きなゆかたを着て

My Time in Kumamoto

マシューオーブ
Matthew Aubut

【2019年4月～2019年8月
カナダ・カルトン大学からの交換留学生】

Travelling to Japan was something I had wanted to do since I was very young. When I found out my school was partnered with host institutions in Japan, I was very excited at the chance to finally go. I had travelled outside of Canada before this but only to other English speaking countries such as the United States and England, this was going to be my first time in a country where English was not the first language. I was very nervous and knew little Japanese when I arrived. In the beginning I was very afraid that I would have a hard time being accepted in this city being a foreigner without a lot of Japanese but this all changed as soon as I got to the KGU residence. The KGU staff and the residents at the dormitory were some of the nicest people I have ever met. From International Office staff to my teachers everybody I met was fantastic and patient with my limited Japanese,

which began to improve the longer I stayed in Kumamoto. I will never forget the friends I made in Kumamoto. I got to know some Japanese friends but also people from the dormitory who came from all over the world. I had lots of fun participating in classes and hanging out with everybody and I made memories that I will treasure for the rest of my life. Some of my fondest memories include learning how to cook Okonomiyaki, travelling to local spots like Daikanbo lookout or Suizenji park, and taking a class trip to Minamata where we learned more about the horrible disease that the city suffered even getting to meet survivors. Overall, I'm really happy that I decided to come to Kumamoto. Despite only being in Kumamoto, it feels like a second home to me. I hope to return and visit all my friends again in the future!



Suizenji Jojuen Park

自分から動く留学生活

外国語学部英米学科4年 ^{しもむら} 下村 くらら

【2018年8月～2019年5月
アメリカ・インカーネットワード大学へ交換留学】

テキサスで過ごした9ヶ月間は、かけがえのないものだったと自信を持って言えます。私にとって“留学をする”ことは高校生からの夢でした。もちろん最初は、SNSで見えるような留学生活とは程遠く、悩んだ時期もありました。しかし、そんな時こそ自分から行動するチャンスだと思います。私は特に“待つのではなく動く”ことを心がけました。現地では、待っていても何も始まりません。学校のイベントに参加する、クラスメイトに声をかけてみる、など自分から行動していくことで、その留学は180度違うものになりました。特に、この大学では、多くのイベントが定期的に学校で開催されます。そのイベントに参加することで、友人も増えより充実した生活を送ることができました。

この時期の留学はとても貴重です。日本に帰ってきた時、「やりきった」と思えるような留学生活になるよう、拙い語学力でも、恥ずかしくても、自分から行動していくことが必要だと強く感じました。



←週末に友人とヒューストンに行った時 (筆者は右端)



学校のイベントのハロウィンパーティーに参加した時 (筆者は二列目右から3番目)

モンタナで過ごした9ヶ月

外国語学部英米学科4年 ^{い や ま く ゆ り} 井山 紅百莉

【2018年8月～2019年5月
アメリカ・モンタナ州立大学へ交換留学】

知らない土地で知らない人と新しい言語を使って生活する。留学は、現地に行ってから自分がどのような行動を取るかが勝負だと私は思う。誰かがSNSにあげていて、みんなが目にするような留学の様子はキラキラしていて楽しそうなものばかりだろう。正直にいうと、私にとって留学前半は辛いことだらけだった。毎日泣いていた時期もあった。日々課されるとんでもない量の課題に、もっと要領よくこなすことはできないものかと自分の力不足を痛感した。常に自分の意見を求められる。誰も空気を読んでくれない環境。他の人よりも英語が話せないことは本当に不便だったし、言いたいことが伝わらないのがいつも悔しかった。そんな中友達には恵まれていた。意識して日本人とは距離をおくと決めた9ヶ月。新しい環境に1人で飛び込

んでいった分、挫折もいっぱいした。その度に現地でもできた友達に助けられた。そのおかげで一生涯の友達を作ることができた。精神的に強くなって自分に自信がついた。振り返ってみると人生で1番苦労して、1番楽しかった9ヶ月だった。戻りたいと思える場所が自分の中で1つ増えたことと、世界中に友達ができたことはこれからの人生を歩んでいくにあたって頑張る源になるだろう。



←いつも行動を共にしていたフランス人とドイツ人の友達 (筆者は前列中央)

Spring Breakに旅行で行った→カナダのカルガリータワーにて (筆者は前列左)



←地元の小学校で授業を行った



親友と出会えた留学

外国語学部英米学科 4年 ^{おだ}小田 ^{ともか}朋佳

【2018年8月～2019年4月
カナダ・セント・メアリーズ大学へ交換留学】

ハリファックスに留学して1番得たものは何かといえば、人との出会いだと私は思います。

わたしは留学に行く前の約20年間、熊本に住み、熊本で学び、熊本にいる人との出会いしかありませんでした。

故郷を生まれて初めて離れて暮らすことは大変でしたが、そこでの出会いに大きく助けられたと思います。

大学の授業で出会った、インド人の女の子と、大親友になりました。その子のおかげで、わたしのコミュニケーション観が大きく変わりました。最初は英語がまったく喋れなくて、喋れないからどう仲良くなろうという不安ばかりでマイナス思考だったのですが、その子と出会い、仲良くなるにつれて、いい意味で、英語は喋れなくてもいいんだと思えるようになりまし

た。2人の間で同じ話題や、好きなものがあることで、それだけで居心地がよく、自分の英語で堂々と伝えられればいいんだと思いました。2人で将来の夢を熱く語ったりもしました。

結局その子といろいろな経験をすることで、英語力もついてくるようになったと思います。

その子と出会えただけで、わたしの留学は大成功でした。今後も交流を続けたいです。



←親友と

ハリファックス市ウォーターフロント



←ルームメイトのみんなと

日々刺激

外国語学部東アジア学科 4年 ^{さくらい}櫻井 ^{みく}美紅

【2018年3月～2019年2月
韓国・大田大学校へ交換留学】

私は、大田大学校へ一年間留学して、一日一日が本当に刺激的で新しかったです。毎日に同じ日はなく、面白い出来事や、楽しいこと、新しく訪れる場所など、飽きることなく一年間を謳歌したと思っています。その反面、初めての留学で辛い思いやきつい思いをすることもありました。その度に心が折れそうになりましたが、そこで挫折するのではなく、その原因を見つけ克服していくことで、生き抜く忍耐力や精神力を磨くことができました。

韓国の友人だけでなく、中国やロシアなど普段の生活なら関わりの少ない国の人達と仲良くなり、その国の文化を理解することもでき、さらに、他国の人と韓国語で会話するのがとても不思議ではありましたが、楽しかったいい思い出です。

留学できたことで、大切な友人にも出会え、今まで知らなかったことを経験できたことは、私にとってこれからも大きな財産になると思います。今の生活を捨ててまで留学する必要があるのかと迷っていた留学でしたが、行くことができ本当に良かったと心から言えます。元々、私は内気な性格でしたが、留学のおかげで開放的で積極的に活動できるようになり、充実した留学生活を送ることができました。



←留学一ヶ月記念で日本人だけでパーティーをしたときの写真
(筆者は左端)



韓国の体育祭に参加したときの写真。総合優勝3位でした。

好きなことを継続すること

外国語学部東アジア学科3年 ^{しらたに} 白谷 ^{せい か} 清華

【2019年3月～2019年8月
韓国・全南大学校へ交換留学】

私は小学生の頃から韓国が好きで東アジア学科に入学し、留学も考えていましたが、いくら好きとはいえ不安もあり、迷っていました。しかし、母が背中を押してくれたこともあり、思い切ってぼんやりと考えていた留学を現実のものにしました。

いざ留學生活が始まるとそこはやはり大好きな韓国、現地のリアルな大学生活を味わいながら毎日そこで生活できるというだけでも幸せでした。しかし、やはり現実楽しいばかりではなくレベルの高い韓国語の授業、自分以外全員韓国人という環境での寮生活に少し戸惑ったり、自分の韓国語力に落ち込んだことも何度もありました。

それでも難しかった授業は韓国語学習にとっても役立つと感じるルームメイトたちも良くしてくれ、留學生活が嫌だと思ったことはありませんでした。他にもトルコ人や中国人などの友達ができたり、高校を

訪問して日本のことを紹介したりと日本にはできない貴重な経験ができたので、むしろ留学してよかったと思うことばかりです。

“好きこそ物の上手なれ”とは本当だと私は感じていて、まさに私は好きだという気持ちでここまでやってこれました。何かを好きな気持ちや留学への憧れがあるけど怖くて迷っているという方は、思い切って一歩踏み出してみると楽しく成長できる機会が待っているのではないかと思います。



← 韓国人のルームメイトたちと
(筆者は左端)



← 日本語サークル（韓国人学生+日本人留学生）でのお花見
(筆者は右端)

一歩前に踏み出そう

外国語学部東アジア学科4年 ^{しまだ} 島田 ^{もえ} 萌

【2018年3月～2019年2月
中国・深圳大学へ交換留学】

これから留学をしたいと考えている人は、少なからず今の自分を変えたいと思っています。1年間の留學生活はとても短く、その貴重な時間を充実させていくには、自分が1年間で何を成し遂げたいか目標を決めることで、一日一日を有意義にする行動意識が高められると思います。

私の留學での目標は、“積極的にチャレンジする”でした。留學初日から聞き取りに苦労し、伝えたいこともなかなか伝わらないことが多く、自信を失くしてしまった時期がありました。そんな時に“自分を変えたい”と決心したことを思い出し、“くよくよ考える前にチャレンジしよう”とモチベーションを上げました。それからは、中国人学生や様々な国籍の学生と交流する機会がある時は必ず参加するようにしました。それにより、交流会で出来た中国の友人を含め様々な人と関わっていく中で、今までにない出会いや経験を

することが出来ました。

私にとって深圳大学での1年間の留學生活は、大切な宝物になりました。これから困難なことがあっても、この経験を糧に一歩ずつ前に踏み出していきたいと思っています。

皆さんも成長できる機会にチャレンジしてみてください！



← 深圳大学の近くのお店で2018年FIFAワールドカップを観戦
(著者は左から2番目)

← 中国の友人達とマリリンモンローの展覧会に (著者は中央)



← 深圳大学日本語学科の中国の友人と日本語スピーチ大会終了後の打ち上げ
(著者は左端)



サマープログラムに参加して

怖がらないやさしさ

外国部学部英米学科3年 **甲斐 彩華**

【2019年8月9日～2019年9月1日
イギリス・セントラル・ランカシャー大学のサマープログラムに参加】

私がイギリスに留学して強く思ったのは、イギリス人たちの温かさだ。

学校が終わってから、イギリスの学生たちは毎日のように、私たち日本人学生を、パブやスポーツ、映画に誘ってくれた。私たちは流暢に英語を話せるわけではないし、彼らが言っていることを完璧に理解することもできない。しかし、彼らはジェスチャーを使ったり、わかりやすい簡単な英語をゆっくり話してくれたりして、どうにか私たちとコミュニケーションを取ろうとしてくれた。

日本人と彼らのやさしさの大きな違いは、日本人がうまくコミュニケーションが取れるか、伝えられるか、聞き取れるかを意識することに対して、彼らは全く怖がらずに接してくれることだ。私は日本に来た留学生

に話しかける際、自分の英語力に自信が持てず、消極的になってしまうことがあった。しかし、イギリスで会話をするときに大切だったのは、言語の違いではなく、話したいという気持ちがあるかどうかだった。私は彼らのこのやさしさがとても嬉しかったし、自分も日本にいる留学生に、怖がらずに話かけていきたいと思った。彼らはコミュニケーションにおいて、一番大切なことを私に教えてくれた。



←イギリス人学生寮でのパーティー



学校後のパブ

短期認定留学に参加して

留学での経験を糧に

商学部ホスピタリティ・マネジメント学科2年 **佐崎 弥花**

【2019年2月15日～3月18日
ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学へ短期認定留学】

私は春休みの約4週間ニュージーランドのクライストチャーチ工科大学に短期認定留学をしました。ニュージーランドに留学したいと思った理由は、元々高校生の頃から留学したいと思っており、大学生になり友人が夏休みにイギリス・セントラル・ランカシャー大学でのサマープログラムに参加していたので、私も春休みに挑戦してみようと思ったからです。また、私の好きな映画の撮影が全てニュージーランドで行われていたことも理由の一つです。

ニュージーランドに留学してみて、最初は思った様にいかないことや、英語が通じなかったりしたのですが、次第に先生と仲良くなったり、友人ができたことで留学生活がとても楽しくなりました。また、最初は間違いを怖がってあまり英語を話せ

ませんでした。そのうちに間違いを恐れずに英語で堂々と話せるようになりました。語学学校での私のクラスは、私以外に日本人が一人もいなかったもので、休み時間には様々な国の人とお互いの国の文化について話したり、その国の有名なお菓子を分け合ったりしていました。

留学で得た経験は沢山ありますが、なによりも留学をしてたくさん刺激を受けて自分の考えを広げることができた貴重な時間でした。この経験を糧に、今年8月からの交換留学に向けて頑張りたいと思います。



←ホストマザーと一緒に



ニュージーランド史上最悪の銃→乱射テロで被害に遭われた方々に花をたむけに行った時

令和元（2019）年 海外往来

	派 遣	受 入
1月	■派遣交換留学生の帰国（韓国・大田大学校 [3名]、全南大学校 [1名]、中国・深圳大学 [2名]）	■米国・モンタナ州立大学副学長一行来学（1/28）
2月	■派遣交換留学生の出発（韓国・大田大学校 [6名]、全南大学校 [2名]、中国・深圳大学 [2名]、北京外国語大学 [1名]） ■短期認定留学生の出発（NZ・クライストチャーチ工科大学 [5名]） ■派遣交換教員の帰国（申明直先生（2/26）） ■派遣交換教員の出発（ジョセフ・トゥメイ先生（2/28））	■受入れ交換留学生の帰国（オーストラリア・ラトロープ大学 [1名]、韓国・大田大学校 [7名]、中国・深圳大学 [2名]、北京第二外国語学院 [1名]、ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校 [1名]） ■受入れ交換教員の帰国（大田大学校・李漢祥先生（2/26））
3月	■短期認定留学生の帰国（NZ・クライストチャーチ工科大学 [5名]）	■受入れ交換教員の来熊（深圳大学から钟 坚先生（3/8）、大田大学校から金眞會先生（3/12）） ■受入れ交換留学生の来熊（米国・モンタナ州立大学 [1名]、カナダ・カールトン大学 [1名]、オーストラリア・ラトロープ大学 [1名]、韓国・大田大学校 [1名]、中国・深圳大学 [2名]、北京第二外国語学院 [1名]、ベトナム・ベトナム国家大学ハノイ校 [1名]、ドイツ・ハインリッヒハイネ大学 [1名]）
4月	■外国語学部長期海外研修・海外インターンシップ出発（カナダ・ビクトリア大学 [学生 13名]） ■派遣交換留学生の帰国（カナダ・セント・メアリーズ大学 [2名]）	
5月	■派遣交換留学生の帰国（米国・モンタナ州立大学 [1名]、インカーネットワード大学 [1名]）	
6月	■派遣交換留学生の帰国（韓国・全南大学校 [2名]）	
7月	■外国語学部長期海外研修・海外インターンシップ帰国（7月～9月）（カナダ・ビクトリア大学 [13名]）	■中国・上海市立文綺中学校中学生訪問団来学（7/2） ■台湾・崑山科技大学訪問団来学 [学生 3名、引率 1名]（7/31）
8月	■派遣交換留学生の出発（米国・モンタナ州立大学 [2名]、カナダ・セント・メアリーズ大学 [2名]） ■日本語教員養成課程・日本語教育演習・海外実習（ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学） [1名]（8/8～9/9） ■社会福祉学部交換留学生の帰国（ドイツ・ハインリッヒハイネ大学 [1名]） ■台湾・国立高雄科技大学訪問（委員長一行 8/27～8/29）	■受入れ交換留学生の帰国（米国・モンタナ州立大学 [2名]、インカーネットワード大学 [1名]、カナダ・セント・メアリーズ大学 [1名]、カールトン大学 [1名]、英国・セントラル・ランカシャー大学 [2名]、中国・広西民族大学相思湖学院 [5名]、台湾・崑山科技大学 [1名]） ■韓国・大田大学校学生訪問団（8/7～8/9） ■受入れ交換教員の帰国（深圳大学・钟坚先生（8/23））
9月	■派遣交換留学生の出発（台湾・崑山科技大学 [1名]） ■外国語学部長期海外研修・海外インターンシップ出発（カナダ・ビクトリア大学 [7名]） ■モンゴル高等教育機関視察（委員長 9/4～9/7） ■派遣交換留学生の出発（英国・セントラル・ランカシャー [1名]） ■フィリピン・アテネオ・デ・マニラ大学訪問（委員長一行 9/14～9/17）	■受入れ交換留学生の来熊（米国・インカーネットワード大学 [1名]、カナダ・セント・メアリーズ大学 [1名]、英・セントラル・ランカシャー大学 [1名]、中国・広西民族大学相思湖学院 [3名]、台湾・崑山科技大学 [1名]） ■受入れ交換教員の来熊（深圳大学から吳遵杰先生（9/17））
10月	■日本語教員養成課程・日本語教育演習・海外実習（台湾・国立政治大学 [5名]）（10/10～10/25） ■韓国・大田大学校訪問（理事長・学長一行 10/28～10/30）	
11月		
12月	■外国語学部長期海外研修・海外インターンシップ帰国（12月～1月）（カナダ・ビクトリア大学 [7名]）	



令和元（2019）年度 研修団往来

受入	研修団名	研修期間	期間	団員数
	大田大学校学生訪問団	8月 7日(水)～ 9日(金)	3日間	学生18名、引率4名

	研修団名	研修期間	期間	研修・派遣先	団員数
派遣	外国語学部東ア(韓国)海外研修	8月 1日(木)～ 8月23日(金)	23日間	韓国・梨花女子大学校	学生28名
	外国語学部東ア(台湾)海外研修	8月 4日(日)～ 8月24日(土)	21日間	台湾・国立台湾師範大学	学生6名
	外国語学部英米海外研修	8月 5日(月)～ 8月27日(火)	23日間	米国・ベセル大学	学生9名
	経済学部国際インターン実習	8月 8日(木)～ 8月22日(木)	15日間	ベトナム・ハノイ、カンボジア・シェムリアップ	学生12名、引率計2名
	サマープログラム	8月 9日(金)～ 9月 1日(日)	24日間	英国・セントラルランカシャー大学	学生13名
	経済学部国際研修(アメリカコース)	8月31日(土)～ 9月12日(木)	13日間	米国・ニューヨーク	学生17名、引率1名
	社会福祉学部海外フィールドワーク	9月19日(木)～ 9月22日(日)	4日間	韓国・順天郷大学校	学生9名、引率4名

海外への派遣学生数

	派遣先大学名	令和元（2019）年度				平成 30（2018）年度まで					
		交換	短期交換	短期認定 ³	サマーP ²	交換	短期交換	短期認定 ³	サマーP ²	HSP ¹	短期派遣
アメリカ	モンタナ州立大学	2				75					25
	モンタナ大学					21					
	キャロル大学					29					22
	ロッキーマウンテン大学										4
	インカーネットワード大学					35					
	アワーレディオブザレイク大学（熊本市交流事業）					7					
	ウィスコンシン大学オークレア校					10	9				
ハワイ大学アウトリーチカレッジ			2								
カナダ	セント・メアリーズ大学	2				33	2				
	カールトン大学					10					
イギリス	リバプールジョンモーズ大学					41	11				91
	アルスター大学					8					19
	セントラル・ランカシャー大学	1			13	6			87		
フランス	リヨン商科大学					2					
	ボワチエ大学					1					
ドイツ	ラインランド・プファルツ州立経済大学										16
オーストラリア	ラトロープ大学					31	5			124	
ニュージーランド	ユニテック工科大学					28	8		22	103	14
	クライストチャーチポリテクニク工科大学			10		1		13			
韓国	大田大学校	6				91					
	全南大学校		2			2	1				
中国語圏	深川大学	2				59					
	中国人民大学					8					
	北京外国語大学	1				13					
	北京語言大学					11					
	北京第二外国語学院					12					
	広西師範大学（熊本市交流事業）					9					
崑山科技大学	1				3						
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校					9					
タイ	チュロンコン大学					4					
	合計	15	2	12	13	559	36	13	109	227	191

※ 網掛けの協定校は、現在交流を行っていない大学
 ※ 短期派遣留学（2ヶ月派遣）は、平成 18 年度をもって終了
 ※ 短期交換留学（1 学期派遣）は、平成 20 年度開始
 ※ 短期語学ホームステイプログラムは、平成 24 年度の実施なし
 ※ サマープログラム（1ヶ月派遣）は、平成 25 年度開始
 ※ 短期認定留学は、平成 28 年度開始

*1: 短期語学ホームステイプログラム
 *2: サマープログラム
 *3: 短期認定留学



令和元（2019）年度 出身国・地域別外国人留学生数

春学期

令和元（2019）年5月1日現在

国 籍 (国・地域名)	学 部 学 生					研 究 生			大 学 院 生					留 交 学 生 換	合 計	
	1	2	3	4 以上	計	学部	院	計	修1	修2 以上	博1	博2	博3 以上			計
中 国	9	2	2	2	15	2		2	4	1		1	1	7	8	32
韓 国		1		1	2										1	3
台 湾															1	1
タ イ	1				1											1
ベ ト ナ ム															1	1
オーストラリア															1	1
ア メ リ カ															3	3
カ ナ ダ															2	2
イ ギ リ ス															2	2
オ ラ ン ダ		1			1											1
ド イ ツ															1	1
合 計	10	4	2	3	19	2	0	2	4	1	0	1	1	7	20	48

※ 「留学」の在留資格を持っている学生のみ。

【11カ国・地域 48名】

秋学期

令和元（2019）年10月1日現在

国 籍 (国・地域名)	学 部 学 生					研 究 生			大 学 院 生					留 交 学 生 換	合 計	
	1	2	3	4 以上	計	学部	院	計	修1	修2 以上	博1	博2	博3 以上			計
中 国	9	2	2	2	15	1		1	4	1		1	1	7	6	29
韓 国		1		1	2										1	3
台 湾															1	1
タ イ	1				1											1
ベ ト ナ ム															1	1
オーストラリア															1	1
ア メ リ カ															1	1
カ ナ ダ															1	1
イ ギ リ ス															1	1
オ ラ ン ダ		1			1											1
ド イ ツ															1	1
合 計	10	4	2	3	19	1	0	1	4	1	0	1	1	7	14	41

※ 「留学」の在留資格を持っている学生のみ。

【11カ国・地域 41名】

令和元(2019)年度 留学生の主な参加行事

名 称	主 催	内 容	期 日
留学生ピクニック	国際教育課	水前寺成趣園散策と熊本市動植物園散策	4月 6日(土)
留学生歓迎会	国際教育課	新入留学生の歓迎会	4月17日(水)
ウェルカムパーティー	熊本留学生交流推進会議	新入留学生との交流会	5月18日(土)
第29回外国人留学生弁論大会	国際交流委員会	本学留学生の日本語による弁論大会	6月 8日(土)
留学生送別会	国際教育課	帰国する留学生の送別会	7月24日(水)
留学生歓迎会	国際教育課	新入留学生の歓迎会	9月25日(水)
第70回建国記念のお祝い国慶節	熊本華僑華人総会	国慶節を祝う会	9月29日(日)
稲刈り体験	社会福祉学部仁科先生ゼミ	八代市坂本町で稲刈り体験	10月12日(土)
ウェルカムパーティー	熊本留学生交流推進会議	新入留学生との交流会	10月19日(土)
留学生バス旅行	国際教育課	大観峰と黒川温泉へバス旅行	11月 1日(金)
第33回熊本グループ留学生交流会	国際ロータリー第2720地区 ロータースタッフ	華道や茶道体験を通しての交流会	11月 2日(土)
第26回熊本国際交流祭典	日本現代和装研究会	着物の着付けと異文化体験	11月 2日(土)
人吉・球磨の文化と蔵めぐり	大学コンソーシアム熊本	国宝青井阿蘇神社と焼酎蔵見学	11月 9日(土)
多文化共生留学生シンポジウム	熊本留学生交流推進会議	第一部：「留学生に聞いてみよう！～私の熊本観～」をテーマに発表 第二部：餅つき	12月 7日(土)
山江村交流会	山江村教育委員会	山江村の小学校との交流会	12月11日(水)
成人式	日本現代和装研究会	着物の着付けと式典出席	1月13日(月)
留学生送別会	国際教育課	帰国する留学生の送別会	1月24日(金)
留学生交流会&お花見会	大学コンソーシアム熊本	お花見を通しての留学生同士の交流	3月26日(木)



国際教育課 REPORT



新1号館みらい1階
新しいオフィスです

窓口業務

- 海外留学に関する相談
- 交換留学に関すること
- サマープログラムや短期認定留学に関すること
- 海外就業体験プログラムに関すること
- 学部海外研修に関すること
- 外国人留学生サポート
- 留学生の学生生活全般に関すること
- 在留資格に関すること
- 熊本学園大学国際交流会館に関すること



窓口時間：平日午前8時45分～午後5時15分（土・日・祝はお休み）

留学生ルーム



事務室の隣には留学生ルームを設けています。留学生のみならず、日本人の皆さんも利用できます。



国際交流会館

学園大キャンパスから歩いて7分！主に交換留学生が入居する国際交流会館。現在、入居する留学生のサポートを行う日本人学生のレジデント・アシスタントが活躍しています。



学内外で行われる各種イベントの情報を掲示や配布しています。語学を伸ばしたい！海外留学してみたい！外国人留学生と交流したい！という方、情報収集の場、可能性を広げる場として活用してください。

INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE MEMBERS

国際交流委員会メンバー

(2019年4月～)

委員長	佐藤 勇治
商学部	松尾 健治
経済学部	エイ・チャン・プイン
外国語学部	柴 公也
社会福祉学部	向井 洋子
大学院	岡村 一
国際教育課	喜佐田 智子

OFFICE OF INTERNATIONAL EDUCATION STAFF

国際教育課スタッフ

(2019年4月～)

課長	喜佐田 智子
係長	大澤 孝
	北原 かおり
	高井 智代 (12月まで)
	古家 由美子
国際交流会館	宗 恵一 (7月11日まで)
	原 伸一 (7月12日から)

熊本学園大学 国際交流レター 2019 vol.41
編集・発行 熊本学園大学国際教育課

令和2(2020)年3月発行



熊本学園大学

KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY

〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号

TEL 096-364-5161(代)

FAX 096-372-4112

[ホームページ] <http://www.kumagaku.ac.jp/office/kokko>

[facebook] <https://www.facebook.com/kumagakukokko>